

川越印刷株式会社

松本市城西1丁目5-21番地

事業内容 印刷業

創業年 1903年（明治36年）

創業時の屋号 川越活版所（松本市大名町）

創業時の事業 活版印刷業



創業111年。松本の発展は弊社と共に。

弊社にはまだ電話番号が3ケタの当時の粗品の手ぬぐいが残っています。そこには日本画家、小川芋銭の言葉を借り以下のように記載されています。「芋銭の言に『文化は桃栗の三年にして果を成すが如く参らず。』とあり。蓋し（「けだし」=まさに、確かに）至言と言うべし。印刷は文化のバロメーターなり。この消長誠に意義あり。」松本市は県庁所在地では無い第二地方都市ですが、その市制施行とほぼ時を同じくして弊社は創業し、松本の文化、経済の発展と共に、印刷事業を通して地域を支えてまいりました。それは今も変わりありません。

- ・松本はなぜ文化的に豊かな都市なのか？その礎を印刷物を通じて支えて来たのが弊社なのです。
- ・文化と共に経済も発展した高都松本。仕事に役立つ印刷物を丁寧な打ち合わせによりご提供します。
- ・地域の文化を支え、知ること。そしてその文化を支え続けること、愉しむことに仕事の価値を見出します。